

Table of Contents

2025年 2月号

feature

08 EMC TESTING

フェライトを充填した電波吸収体を使ったRFの自己干渉低減

Kenneth Wyatt

12 SHIELDING

ボードレベルのシールドを指定する方法

Ken Marino

16 EMC TESTING

ミリ波の応用と将来性

Mike Violette

news

02 EMCニュース

パルスオキシメータがIEEE マイルストーン認定 ほか

04 EMC規格

EMCD整合規格EN 55032: 2015+A11: 2020 ほか

06 EMC新製品

業界初の18.0 - 26.5GHz、400 Wのソリッドステートアンプ ほか

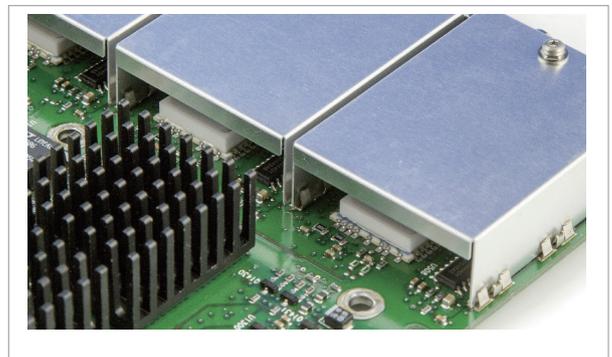
今月号の特集

【Interference Technology 日本版】105号は、新規翻訳で3本の特集をお届けします。

まず、無線受信機の性能に影響を与える自己干渉を低減する費用対効果の高いノイズ対策を紹介する記事。既知のEMI発生源にフェライトを充填した小さな電波吸収体を使用する対策は自己生成 EMI のあらゆるシールドと減衰が重要となる小型ワイヤレス製品の設計時に役立つことでしょう。文中で紹介されている電波吸収体のメーカーは米国企業ですが、簡易的な吸収特性の測定方法も合わせて記載されているので、他社シートを選択しても有用なはず。

次は、ボードレベルのシールドと回路基板上に、グランド・リターン層に直接取り付けられた金属製シールドボックスを使用する際に必須の情報。メーカー選定から形状、取り付け方法など多岐にわたる仕様を決定するときの考慮事項がわかりやすく説明されています。

最後は、ミリ波30~300 GHzそして、サブミリ波0.3~3 THzの周波数帯に興味がある方は必読の内容です。この周波数帯は、技術的に新しい分野であり、その性質を知って測定や新規用途に利用するための解説書となっています。



~特集記事「ボードレベルのシールドを指定する方法」より~

ITEM メディアは正確な情報の提供に最善を尽くしますが、過失および怠慢への義務を負わないものとします。これらの情報は刊行時点で最も新しい情報に基づくものとします。本誌に掲載されている技術情報を利用することにより発生した損害などに関しては、ITEM メディアおよび著者は責任を負うことはできませんのでご了承ください。ITEM™・InterferenceTechnology™ また InterferenceTechnology.com™ は ITEM メディアの商標です。無断で使用することを禁じます。ITEM™・InterferenceTechnology・InterferenceTechnology.com は ITEM メディアの著作権によって保護された刊行物であり、内容をいかなる手段においても無断で転用することを禁じます。

Copyright © 2025・ITEM Media・ISSN 0190-0943